

みんなあつまれ、あしかがしぎかい

しぎかいひろば

CONTENTS

P2 リニューアルから1年を振り返って

P4 こんな結果になりました！

P5 こんなことを聞きました！

P10 密着！あしかがしぎかい

P12 ぎかいにとどけ！わたしたちのこえ

あしかが
市議会だより

No. 365

2023.2



令和4年2月号からリニューアル!

足利市議会の情報をお伝えする「しぎかいひろば」は、令和4年2月のリニューアルに伴い、「議会の仕組みや取り組み」を丁寧に紹介する特集ページを設けました。リニューアルからこれまで1年間の特集を振り返ります。

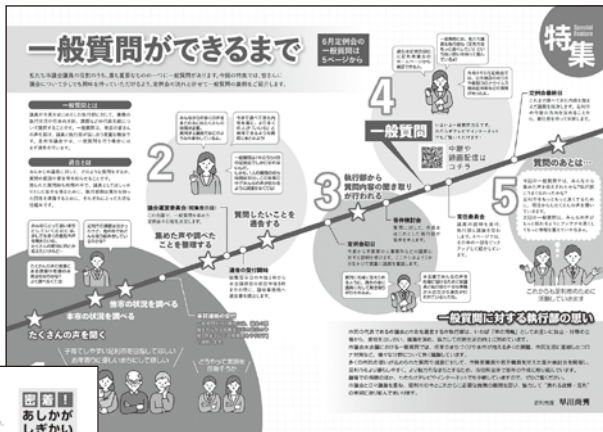
リニューアルした令和4年2月号▶



8月号

一般質問ができるまで

テレビ中継やネット配信も行われている、皆さんに一番身近な一般質問。議員がどのように皆さんの声を集め、質問に備えているのか紹介しました。



8月号

これが市議会議場です!!

市議会が行われる議場を紹介しました。年に4回の定例会や必要に応じて臨時会が開催され、市の最終的な意思が決定される場所です。

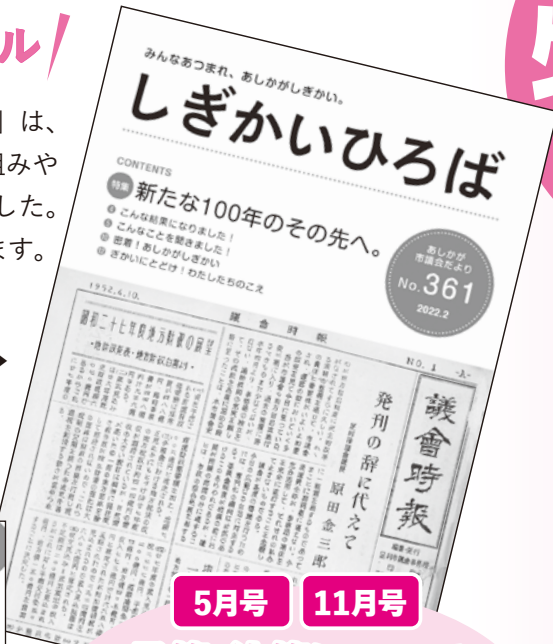
11月号

定例会以外はどんな活動をしているの!?

議会では、定例会以外の月にどのような活動をしているのか特集しました。普段から議会は、より良い市民生活の実現に向けて活動しています。



『しぎかいひろば』が伝えてきた1年を振り返って、リニューアルから、1年を振り返って



5月号 11月号

予算・決算について

一般会計だけでも500億円以上にもなる市の予算をどのように使うのか、また使った結果について、市議会が責任を持ってチェックしている様子を紹介しました。



一つ一つの『特集』で、
皆さんにお伝え
したかったことは…

『議会は、市民生活をより良く
するために必要な仕組みであり、
重要な役割を担っている』ということ!

市民と議会は、次のように密接につながっています。

二元代表制

市民から直接選挙で選ばれた市長と市議会議員が互いに意見を出し合いながらまちづくりに取り組んでいます。この仕組みが機能することで、市政がより良い方向に向かっていきます!!

市議会



足利市の将来のために〇〇をつくりたい。
〇〇円が必要です。

市民にとって必要ですから賛成します。
ただし金額が適正か調べましょう。

→ 過半数の議員
の賛成で議決

より良い市民生活のため、新しいルール（条例）
を提案します。

必要なルールなのか検討しましょう。

→ 過半数の議員
の賛成で議決

市長



投票

投票

議会制民主主義

『私たちの代表者』として
まちづくりを議論してもらおう

代表者を選ぶ私たち市民が主役です。

『私たちの代表者』として
まちづくりをしてもらう

学校をよく
してほしい

子育て支援
が必要

まちなかに
活気を

老後の暮らし
が心配

コロナが
心配

足利市の財政は
大丈夫？



本当は14万人の市民全員が集まって、話し合っただけで決められるといいけれど…

市民の皆さんは、市議会議員を、
そして市長を、自分たちの代表者として
直接選挙で選ぶことによって、
この仕組みの主役として参加しています。

だから、
『私たちの一票』
は大切。



こんな結果になりました！

令和4年第7回定例会は11月25日から12月19日までの25日間開催しました。提出された議案など合わせて13件について、慎重に審議しました。



会議結果



審議結果



録画配信

市長から提出された議案等 10件

議員から提出された議案等 3件

注目議案を PICK UP!

総務企画防災 常任委員会

PickUp 1 議案第84号
地方公務員法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

地方公務員法等の一部を改正する法律の施行に伴い、職員の定年引き上げ等に関し必要な事項を定めるとともに、所要の規定を整理するための条例制定について審議を行い、原案のとおり可決されました。

Q 定年を60歳から65歳に引き上げるに至って、役職定年を設けるといふ国の考え方に準拠して、各自治体が同様の引き上げを行うが、国の考え方をどのように捉えているのか。

A 今回の改正については、少子高齢化の進行を踏まえ、高齢期の職員の知識等を次の世代に継承するため、国が60歳から65歳に定年を引き上げたと考えている。

民生環境水道 常任委員会

PickUp 2 議案第88号
足利市犯罪被害者等支援条例の制定について

国の第4次犯罪被害者等基本計画の策定に伴い、犯罪被害者等が受けた被害の軽減または回復を図り、もって安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与するための条例制定について審議を行い、原案のとおり可決されました。

Q 被害の救済という点では、犯罪被害者の方の相談に乗り、心を慰める体制が必要であると思うが、現在とこれからの体制についてどのように考えているのか。

A 長い時間をかけて犯罪被害者の方に寄り添うことが必要であると感じている。相談員や担当職員が研修を受講し、相談時の対応や心構え等を学んでいる。これからは犯罪被害者の方に寄り添っていける体制づくりを心がけていきたい。

教育経済建設 常任委員会

PickUp 3 議案第89号
令和4年度足利市(仮称)あがた駅北産業団地開発事業特別会計補正予算(第1号)について

産業団地開発事業費の繰越明許費を追加しようとするため審議を行い、原案のとおり可決されました。

Q (仮称)あがた駅北産業団地を含めて、今後の産業団地の計画を立てていると思うが、現在、企業に対してどのように営業活動を行っているのか。

A 今年度、市長自ら東京と大阪においてトップセールスを行った。東京の開催では51社、105名、大阪では64社、106名であり、延べ211名に参加いただいた。名刺交換を行いながら本市の産業団地についてPRしたところであり、引き続き機会を捉えてPRに努めていきたい。

こんなことを聞きました！

市政を問う一般質問を開催 市民の思いを胸に、10名が登壇

まちの課題などについてさまざまな視点から議員がまちの考えを聞く一般質問。ここでは各議員の質問をダイジェストでお伝えします。二次元コードから録画配信をご覧ください。

議員	会派名	録画配信
	氏名	
質問	議員の質問	
回答	市長などの回答	
ひと言	質問に込めた思いなど	



万和クラブ

さいとう まさゆき
齋藤 昌之



遊休資産の処分を進めよ！

質問

本市が所有する遊休資産の処分を積極的に進めるべきである。市街化調整区域内の土地等は用途が制限され処分が困難となっているが、周辺地域を絡めた市街化区域への編入など土地利用計画を政策的に展開し、用途の変更を可能にすることが必要ではないか。

回答

市街化調整区域にあっても、開発許可基準等の一定の要件を満たせば用途変更が認められることから、積極的な活用を図っていく。また、公共施設再編においては、施設廃止後も見据えた上で土地利用を政策的に展開する必要もあるため、施設周辺を含む地域としての面的な土地利用を検討していきたい。

ひと言

今後の公共施設の統廃合も見据え、再利用や処分等の活用策を検討する必要があります。



あしかが自民党議員会

かねこひろみ
金子 裕美



おたふくかぜワクチンの 接種費用の助成を！

質問

おたふくかぜは、罹患すると合併症として重度の難聴や脳炎を発症する場合があります、予防にはワクチン接種が有効である。現在は自己負担が必要な任意接種であるが、合併症による健康被害から子どもたちを守るため、接種費用の助成が必要ではないか。

回答

おたふくかぜの合併症により、生涯にわたって重大な健康被害に苦しむ可能性があることから、感染予防は子どもたちの命と健康を守るための重要な課題である。接種費用の助成については、保護者からの要望が多いことから、令和5年度からの事業開始も視野に入れ、必要な準備を進めていく。

ひと言

多くの方が自己負担で接種しているため、助成による子育て世帯の負担軽減を期待します。



公明党議員会

ひらつか
平塚

しげる
茂



災害時の避難所における 環境整備を問う！

質問

災害時の避難先における劣悪な環境によって、持病が悪化することなどにより、命を落とす災害関連死を防ぐための対応が必要である。本市の避難所における環境整備の状況はどのようになっているのか。

回答

地域防災計画に基づき、市が指定している避難所の環境整備を推進している。具体的には、プライバシー保護や感染症対策、避難生活の上で特に配慮が必要な高齢者や障がい者、妊産婦などのための資機材を配備できるよう、防災倉庫の備蓄品や民間事業者との災害時応援協定の充実に努めている。

ひと言

災害から避難できたにもかかわらず命を落とす災害関連死がゼロになることを望みます。



織姫クラブ

おおたに やよい
大谷 弥生



※令和5年1月10日付で議員を辞職 特殊詐欺被害ゼロを目指して！

質問

特殊詐欺被害の撲滅には、市民の危機意識を高める必要がある。そのため、発生場所などについて、もう少し詳細な情報を警察から提供してもらい、市民に注意を喚起することがさらなる被害の防止につながると考えるがどうか。

回答

市民への具体的な特殊詐欺被害情報の提供は、危機意識を喚起する観点から被害の未然防止につながると考えている。しかし、警察からは提供できる情報について制限があると聞いているため、引き続き詳細な情報の提供を要望していきたい。

ひと言

特殊詐欺被害の撲滅には、地域の絆や市民力、市民参加型の啓発活動が効果的です。



あしかが自民党議員会

すだみずほ
須田 瑞穂



外国籍児童の就園支援 について問う！

質問

市内の幼稚園や認定こども園、保育園等では、外国籍の園児の受け入れ数が増加傾向であり、入園手続きが分かりにくい、在園児や保護者とのコミュニケーションが取りづらいなどの課題を聞く。外国籍の親子も安心して利用できるような支援が必要ではないか。

回答

現在、英語版の入園案内パンフレットを用意しているが、多言語によるパンフレットも早急に作成したい。また、外国籍の親子と保育士との言葉の壁の解決に有効とされるAIによる音声翻訳機の導入について、補助制度の創設などを積極的に検討していく。

ひと言

子どもが健やかに過ごせる環境づくりと保護者への支援の充実を期待します。



公明党議員会

とみなが えつこ
富永 悦子



出産・子育て応援交付金事業に ついて問う！

質問

国の令和4年度一般会計補正予算（第2号）では、妊婦や特に2歳児までの子どもがいる家庭に寄り添い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援を行う「出産・子育て応援交付金」事業などが盛り込まれたが、本市ではどのように事業を実施していくのか。

回答

同事業の伴走型相談支援を活用し、よりきめ細やかな面談による課題やニーズの把握を行い、必要な子育て支援サービスを提供するとともに、経済的支援を遅滞なく実施できるよう準備を進めている。今後は、民間事業者等と連携を図り、身近な場所で相談が受けられるよう支援体制の強化を図っていく。

ひと言

子どもを産み育てたい人の予見可能性を高めることは少子化を食い止める意味で重要です。



会派を構成しない議員

とり い やす こ
鳥井 康子



交通手段の改善について問う！

質問

高齢のため車の運転を続けることに戸惑いつつ、生活に不可欠なため継続している方が少なからずいる。公共交通機関までの移動が難しい方に対し、一部の地域からでもバスの停留所や駅までの足となるデマンド交通の導入に取り組むべきではないか。

回答

本市の高齢化は急速に進んでおり、高齢のために免許を返納される方も増えている中で、日常生活における移動手段の確保は重要な課題である。交通不便地域の解消については、地域それぞれの実情や有効な方策も異なってくるため、先進事例を参考にしながら、引き続き研究していく。

ひと言

移動手段の確保に困っている市民の声に1日でも早く応える必要があると考えます。



会派を構成しない議員

お ぜき えい こ
尾関 栄子



収入のない子どもの国民健康保険税の軽減を！

質問

収入のない子どもの国民健康保険税を軽減するためには、6,000万円余が必要とのことであるが、国民健康保険財政調整基金の現在高である約26億5,900万円を活用することで、子どもの国民健康保険税の引き下げが可能ではないのか。

回答

現在、国民健康保険における財政運営の責任主体が県に移行されたことにより、県内で保険税の統一について議論が深まっている。また、国民健康保険の被保険者の減少や一人当たり医療費の増加などの要因がある中で、基金の活用については慎重に判断していきたい。

ひと言

子どもの養育は社会の責任と捉え、国が責任を持つとともに、自治体も精一杯の努力をすべきです。



公明党議員会

ふじ もと ひで き
藤本 秀樹



介護人材を発掘し、介護環境を整備せよ！

質問

介護施設への入居待機者解消の取り組みとして、計100床を整備するとのことであるが、介護事業者からは介護職員の不足により、受け入れは困難であるとの声が上がっている。そうした現状を踏まえ、介護人材確保対策事業を構築すべきではないか。

回答

令和4年度の新規事業として、介護職へ多様な人材が参入するよう、介護に関心のある方や介護の仕事をしていない方を対象に介護の業務に携わる上で必要な基本的知識と技術を学ぶ「介護に関する入門的研修」を実施した。引き続き、介護事業所の人材確保につながる事業を継続していく。

ひと言

介護職員の不足は深刻化しており、早急な市のサポート体制構築を期待します。



あしかが自民党議員会

あし か が ひさ お
荻原 久雄



デジタル田園都市国家構想の推進を問う！

質問

ブロックチェーン技術により実現された分散型インターネットであるWeb 3.0を推進するための環境整備や、コンピュータの中に構築された3次元の仮想空間やそのサービスを指すメタバースを含めたコンテンツについて、他自治体より先に取り入れることを期待するがどうか。

回答

近年、岩手県紫波町や新潟県山古志地域などで、Web 3.0を取り入れた町おこしを始めていると聞いている。本市においても、こうした先進事例の情報収集に努め、十分に研究を行い、地方創生につなげていきたい。

ひと言

ビジネストレンドの急速な変化に対応するため、本市の積極的な対応を期待します。

発行部数約5万6,000部！市内に配布される「しぎかいひろば」。

前号で『皆さんと一緒に紙面を作成したい』と告知しました。

このたび、『どのように皆さんと作成していきたいのか』について概要がまとまりましたのでお知らせします。

◎市民参加型の紙面とは

活動の様子を紹介したり、その魅力をお知らせするなどの方法によって、「しぎかいひろば」の紙面の一部(表紙を含む)に参加していただくことです。写真や作品の掲載からさらに一步踏み込んで、取材を通じた一つのストーリーとしてご紹介します。

◎今までこんな形で紹介しています!!

これまでも、裏表紙で市内の高校生が学校の内外で活躍の様子をご紹介してきました。今後の紙面でもこのような形で参加型の記事を掲載していきたいと考えています。



◎具体的には…

どのように、どうやって、いつ募集をしていく予定かという点と次のとおりです。

①募集する内容について

例えば、次のような内容を想定しています。

▶各界で活躍する市民の活動

足利市内に本拠を有する団体や足利市内に在住又は通勤・通学している方が行っているスポーツ、ボランティア、地域活動など

▶地域の魅力

足利市内の各地域における歴史や建築物、人物、名物など

②紹介する方法について

原則として、「しぎかいひろば」の紙面内に、申込者へのインタビュー等の取材を通じた記事を掲載します。また、場合によっては表紙に取材で撮影した写真等を掲載することもあります。

③募集の時期について

今後の募集方法については、次の「しぎかいひろば」と市議会HPでお知らせします。

用語解説

12月定例会の気になる用語を解説

デマンド交通

バスや電車のように、あらかじめ特定の時間帯に特定の停留所を回るのではなく、利用者が予約を入れることで、指定された時間に指定された場所へと送迎する交通サービスのことで、利用者のニーズに合った交通サービスを提供してもらえる点が特徴的であり、近年注目されている取り組みです。

Web 3.0

管理者を介することなく、ユーザー同士で直接、データやコンテンツ、お金のやり取りができる全く新しいインターネットのことです。個人に関する情報を自分自身で保有しているため、特定の企業に情報が集中することがなく、コンピューターのセキュリティーが向上すると言われていいます。

メタバース

コンピューターの中にある3次元の仮想空間やそのサービスのことで、アバターと呼ばれる自分の分身がメタバースに入り込み、他者とコミュニケーションを取ったり、ゲームやイベントを楽しんだりします。現実の社会活動とつながっているため、将来的には仕事や経済活動を含め、生活の一部をメタバース上で行うまでに普及するのではないかとされています。

PICK UP 9つの市議会の視察を受け入れました！

全国に誇れる足利市！

私たち市議会議員は、市政の発展や行政の適正な運営のために、自分たちのまちの課題について、どのようにしたらよいのかを日頃から考えています。そのような課題に対し解決の糸口を見つけるため、他の自治体の取り組みを視察して勉強しています。一方で他の市議会から視察を受け入れる際には、本市がどのような点において評価されているのかなどを聞くことで、本市の新たな魅力や強みを発見することができます。ここでは令和4年に本市が受け入れた市議会のうち、どのような点において本市が注目されているのか、その一部を紹介します。

石川県輪島市議会



【視察テーマ】

- ・若者世代、子育て世代に選ばれるまちづくりについて
- ・住みたい田舎ベストランキング栃木県1位に係る取り組みについて

産業厚生委員会の委員6名を受け入れました。東武足利市駅内にワンストップ窓口を設け、自然豊かな地方暮らしを求める人の移住相談に応じていることや、首都圏にもアクセスしやすいことからテレワーカーの移住が増えている事例など、若者世代・子育て世代に選ばれる取り組みについて紹介しました。

長崎県島原市議会



【視察テーマ】

- ・もっとまち歩きしたくなるガイドマップ開発
- ・若者による「市内企業の魅力発信プロジェクト」

総務委員会の委員7名を受け入れました。市民力創出事業のうち、もっとまち歩きしたくなるガイドマップ開発では、市民が作る超個人的で全く新しいガイドマップ作成の取り組み、市内企業の魅力発信プロジェクトでは、高校生ならではの発想を活かした市内企業PRパンフレットの作成の取り組みを紹介しました。

PICK UP 足利大学・白鷗大学から講師を招いて議員研修会を開催！

市議会には大きな権限と重い責任があります。議員の能力を高め、皆さんの負託に応えるため、地元の足利大学、白鷗大学から講師を招き、議員研修会を実施しました。今後も両大学と連携を進めます。

「SDGsの実現へ、足利から世界に」



9月26日に足利大学の牛山泉名誉教授を講師にお招きしました。SDGsの視点や考え方を通じて、持続可能な環境形成や自治体として求められるサステナビリティなどを学びました。

「地方議会内紛争と司法審査」



11月2日に白鷗大学の池村好道法学部長を講師にお招きしました。議会の内部措置について、法律上の妥当性を検討することが重要なことから、司法審査の範囲の考え方などを学びました。

本年4月に実施される統一地方選挙は、政治に対する信頼の確立や議会制民主主義の健全な発展のために、正しく、きれいに行われる必要があります。本市議会では、改選を迎えるに当たり、議員の総意に基づき、選挙事務所での運動員、事務員等の飲食物を経費のかからないものとするよう「お金のからない政治及び公正かつ適正な選挙の実現に関する決議」を行いました。議員相互の信義と信頼に基づき、決議を順守し、選挙を実施します。

公正・適正な選挙を目指して

3月定例会のご案内

開催日	会議の種類
2月27日	本会議(初日)
3月8日	本会議(一般質問)
9日	本会議(一般質問)
13日	本会議(一般質問)
14日	総務企画防災常任委員会 民生環境水道常任委員会
15日	教育経済建設常任委員会 広報広聴常任委員会
16日	予算審査特別委員会
20日	予算審査特別委員会
22日	予算審査特別委員会(予備日)
24日	本会議(最終日)

出前授業、議会報告会・意見交換会

議会を目指して広報広聴活動に特に注力してきました。
ついで、今回対面形式で開催しましたのでご紹介します！

2 消防団との意見交換会

①実施の目的

これまで、議会活動と市政に関する情報をお伝えするとともに、皆さんが抱く市政に対する率直な意見等をお聞きするため、議会報告会・意見交換会を開催してきました。今回さらにもう一步踏み込んで、市内の各種団体を対象に意見交換会を開催して、市政の課題発見と、その解決に向けた議論を一緒になって行うこととしました。

②これまでの取り組み

平成25年度
第1回目の開催
市内2か所で実施



平成26～30年度
公民館単位で各地区を
巡回し開催



令和元年度
コロナ禍による中止

令和2・3年度
動画配信形式で開催

コロナ禍のため、
YouTubeを活用して実施

令和4年度
4年ぶりの対面形式
各種団体を対象に開催
第一回は足利市消防団

各地区で実施してきた事業を更に充実させるため、議論を重ねて準備してきました。もっと身近なところに市議会を感じてほしいと考えています。



意見交換でいただいた意見の中から、市政の問題点や課題を発見して、解決に向けた取り組みを進めるため、市内で活躍する団体の皆様との率直な意見交換の場を企画しました。

③当日の様子

1 議会報告会

本市における地域防災の要である消防団の皆様へ、災害時における市議会の対応について説明しました。

▼消防団の皆さんに、議員席に着席
いただいて実施。



2 意見交換会

消防団4名、議員4名でグループを作り、車座になって自由に意見交換を行いました。互いにそれぞれの立場から今後のまちづくりを議論しました。



3 発表

各グループから、どのような意見が出たのか発表しました。団員のなり手不足をはじめ、団運営の現状について切実な声もお聞かせいただきました。



最後に…

今回初めての取り組みとして『議場』を舞台に開催しました。いただいたたくさんの生の声を今後の議会活動につなげてまいります。



▲足利市議会の議会広報紙はどのように編集しているのか、リニューアルした経緯や、そこにかける思いなどについて、たくさんの質問をいただきました。



足利市議会の取り組みが
大変高く評価されている
ことが改めて分かりました！

10月25日 福島県須賀川市議会
市議会広報紙「しぎかいひろば」
の取り組みについて、福島県須賀
川市議会の議会広報常任委員会の
視察を受け入れました。

議会広報紙について

議会の広報広聴活動
について他市議会から
視察がありました

足利市議会
NEWS

密着！

あしかがしぎかい

コロナ禍を乗り越え 対面形式で開催！！

中学生への

私たち足利市議会は「議会基本条例」に基づき、開かれた中でも、その目玉事業として実施してきた二つの事業に

1 中学生への出前授業

①実施の目的

中学3年生が公民の授業で地方自治について学ぶこの時期に、市議会をより身近なものとして考えるきっかけとしてもらえるように、私たち市議会議員が外部講師になって教壇に立ち、直接私たちの言葉で「議会の仕組みや議員の役割」について説明する事業です。12月2日から12月21日にかけて市内の中学校6校で実施しました。

②これまでの取り組み

平成30年度 第1回目の開催

市内中学校
6校で実施



令和元年度
第2回目
8校で実施

令和2年度
コロナ禍による中止

令和3年度
動画配信形式で開催

コロナ禍のため、
YouTubeを活用して実施

令和4年度
3年ぶりの対面形式
学校を訪問して開催
市内の中学校6校で実施

将来の足利市を中心となって担っていく中学生に、私たち議員の「信念や志」を直接、自分の言葉で伝えたい。



コロナ禍では動画配信で開催しましたが、直接伝えることの大切さを改めて感じています。今年度は、学校の理解を得て、感染対策に万全を期して、対面形式で開催できました。

③当日の様子

開催日・実施校

- 12/ 2 愛宕台中学校
- 坂西中学校
- 12/15 協和中学校
- 12/16 北中学校
- 12/20 山辺中学校①
- 12/21 山辺中学校②
- 毛野中学校



【第1部】市議会の仕組みについての授業

ICT化により各教室に整備された大型モニターを使って、市議会の仕組みについて動画を視聴して学んでもらいました。特集ページでも紹介した二元代表制や、代議員制について説明しました。

【第2部】質疑応答／どんな質問にも応えます！

第1部で学んだことを踏まえて、生徒の皆さんから質問を受けて、議員が真剣に応える「質疑」の授業です。率直な問いかけをたくさんいただき、私たち議員も自分の言葉で真正面から向き合いました。生徒の皆さん一人一人がまっすぐに私たちを見つめてくれていたので、少しでも興味を持ってもらえたのではないかと考えています。

どうして議員に？

やりがいは？

休みはあるの？

今まで〇〇の仕事をしてきた。そこで出会いや学びの機会があって、志を持つようになった。だから議員を目指した。

具体的に、〇〇のときにやりがいを感ずる。どうしてかという...

11月14日 神奈川県厚木市議会
広聴活動の取り組みについて、厚木市議会広報広聴特別委員会視察を受け入れました。
Web会議システムを活用して、今回初めて、オンラインにより実施しました。



▲どのような経緯で事業を開始したのか、事業を開催するに当たり、課題や工夫した点などについて、熱心にご質問いただきました。

11月1日 新潟県柏崎市議会
本市議会の議会報告会・意見交換会、及び中学生への出前授業の取り組みについて、新潟県柏崎市議会広報広聴常任委員会の視察を受け入れました。

議会報告会・意見交換会、
中学生への出前授業について

ぎかいにとどけ！
わたしたちのこえ

白鷗大学足利高等学校 生徒会の皆さんに聞きました！

批判するだけなら、だれでもできる
若者ならではの提案力!!
私たちの暮らすまちをもっとよくするために
高校生が真剣に考えてくれました！



わたしの「こうすればもっとよくなる」

学生の味方！ 足利駅周辺の活性化を目指して

JR足利駅は多くの学生が利用しています。そこで放課後等に気軽に買えるキッチンカーの設置を提案したいです。また、SNSを利用した情報発信も取り入れていきたいです。



2年 岡部さん、石関さん

わたしの「こうすればもっとよくなる」

イベントの盛んな足利へ!! 観光場所との共演

足利花火大会だけではなく、もっと多くのイベントを開催したいです。そのためにも、足利織姫神社や足利学校、あしかがフラワーパークと協力して、人々が喜びイベントをつくってもらいたいです。



3年 藤原さん

わたしの「こうすればもっとよくなる」

駅周辺をにぎやかに!! 発展へつなげよう!

電車の本数が少ないので、待ち時間に有意義な時間を過ごしたいです!軽食を食べられる場所や勉強スペースがあれば、電車の待ち時間が退屈にならないと思います。



3年 五十畑さん、片岡さん

わたしの「こうすればもっとよくなる」

若者も楽しめる場所を 増やしたい!

学生の交通が多い足利市ですが、若者の楽しめる施設が少ない所に流行のお店や運動する場を更に増やす等、変化していくことでよりよい街になるといいと思います。

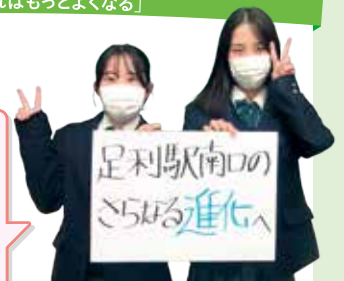


2年 小菅さん、畑中さん

わたしの「こうすればもっとよくなる」

足利駅南口の さらなる進化へ

足利駅のバリアフリー設備の活発化を考えます。部活動に力を入れている生徒が怪我をすることも多く、お年寄りの方も多いため、北口だけでなく、南口もバリアフリー化してほしいです。



3年 館野さん、岩崎さん

「未来を創る若者たち」の

こうすれば

もっとよくなる

を聞いて…

高校生の皆さんならではの視点で、足利市がもっとよくなる方法を提案いただいたことに、何よりもうれしい気持ちでいっぱいです。自分たちが暮らすまちに興味を持つこと、自分のこととして考えることこそ、よりよいまちづくりの第一歩だと信じています。

10年後の社会を担っていくのは皆さんです!これからも、たくさんの経験をして、思ったことや気付いたことを今後のまちづくりに活かしてください。皆さんのますますの活躍を期待しています!

編集 後記



ちょうど一年前のこの時期、紙面を大幅にリニューアルする第361号の編集をしていました。今号は、今期25期市議会としての最後の発行号となります。議会の『議』は「物事の正しさを話し合う」「正しい道を求めて話し合う」との意味を表します。足利市をよりよくするため真剣に課題と向き合い議論を重ね、そこに魂を注ぎ込むことこそ議員の使命であると思っています。

でも、その想いを皆様に十分にお伝えすることが出来ていたかどうか。議会広報紙の編集に当たり、常

に「誰に、何を、どう伝えるのか」を考え続けてまいりました。

限られた紙面を使って、市民の皆様にも少しでも関心をお持ちいただけるように、例えば、読む目の動きを想像したレイアウト、目立つ見出しや写真・イラストなど、視覚要素にもこだわりました。

より親しみと活気のある議会広報紙を目指して取り組んでまいりましたが、読者の皆様にもどのように届いているのでしょうか。ぜひ、ご意見やご感想をお寄せください。(広報広聴常任委員会広報部会)